

お知らせ

次回の資源回収は10月を予定しています。それまで自宅にて資源物の保管をお願いします。

岩 沢 通 信

第80号

2018年5月25日創刊

発行 岩沢アチコタネーゼ・岩沢分館

岩沢地域振興協議会・岩沢福祉会

編集 石首根 徹(地域づくり支援員)

岩沢まつりの盛大に開催



真夏の暑さがぶり返した8月15日、第32回岩沢まつりが中越住電装(株)本社前にて開催され、大勢の来場者で賑わった。夕方6時のふれ太鼓を合図に盆踊りがスタートし踊り手が二重三重に輪を作った。夜店では岩沢商業会、岩沢分館、地域おこし協力隊や桂の庭野優也さんが経営するお店が出店。メインステージ



ジでは新潟市や三条市のハワイアングループが駆けつけ、涼しげなハワイアンミュージックとフラダンスで会場を盛り上げた。今年新たな企画として行った大抽選会では、高額の商品券が用意され、当選者は嬉しそうに持ち帰っていた。最後には37発の花打ち上げがあり、来場者は夏の夜の一日を楽しんだ。



なつかし写真館

「岩沢駅前収穫祭」

平成26年(2014)10月25日



写真はアトラクションとして披露された「おぢや連」の阿波踊りの様子である。前日には駅前通りがイルミネーションで飾られ、写真には無いが、当日は駅前通りに大漁旗も掲げられ気合が感じられる。初代インタン生による「いわべん」も販売された。

南小SC Tシャツリニューアル協賛のお願い

南小SCでは南部地区小学校統合以来使用しているTシャツのリニューアルを保護者会で計画しています。現在製作に向けて最終調整の段階ですが、詳細が決まり次第改めて協賛のご案内をさせていただきますので、ぜひご協力をお願いいたします。

南小SC保護者会 会長 近藤 雅則

携帯電話 090-4863-6722

E-mail roadstar1200sportsstar2@gmail.com

各地で猛暑による被害が!!

農家は苦肉の策で対応

新潟県内では記録的な少雨が続き、上越市ではダムの水位低下による水不足から節水要請が出ている地域もある。

とりわけ農家ではもっと深刻な事態になっている。

中山間部の天水に頼る地域では、用水に流れる水は細くなり、ため池の水も底をつき、既に田んぼに給水出来ない状況だ。

岩山地区では農家の関口貞幸さんがコンクリートミキサー車を使って田んぼに水を掛ける姿があった。一日に何往復もするが、水を隔々まで行き渡らせるには十分では無いとい

5日には待望の雨が岩沢地区にも降ったが、山間部の水不足を解消するまでには至っていないようだ。今年の米の等級が心配される。



南部4地区の町内会長が親睦

地域の現状と課題について懇談



8月2日、令和7年度の南部地区町内会長親睦懇談会が日吉の割烹竹屋を会場に27名の参加者を集めて開催された。

開会冒頭に今年度の幹事地区である真人地区協議会の瀧澤功会長は「連日の猛暑と晴天で水不足になり農作物の生育に影響があると懸念されています」と挨拶。来賓の小千谷山口良信副市長も「水対策をしっかり」と答えた。

懇談会では、真人の高齢化率や通学路の安全確保、岩沢地区でのスクールバスの運行、気づ南会に対する支援など多岐に渡って報告や南部地区として要望していくことが話された。これに対し山口副市長からは、消防組合の合併の推進や消防団の人員不足の問題、J5ファンタジーの対策など様々な課題が



上げられた。懇親会では代表して真人地区の「天神ばやし」が披露され、参加者は各地区の節回しや歌詞の違いについて驚く様子であった。

日本酒をさらにおいしく飲む

岩沢桜峰学級

強い日差しが照りつける7月28日、小千谷市公民館主催の岩沢桜峰学級の勉強会が住民センター12階の涼しい空間で開催された。

今回の講師は国際き酒師で



新瀧清酒検定「金の達人」である(株)住吉屋の佐藤英樹氏。日本酒は純米酒や吟醸酒など多種多様であり、味わいは千差万別、その中で薫酒(くんしゅ)、爽酒(そうしゅ)、醇酒(じゅんしゅ)、熟酒(じゅくしゅ)などの4タイプで分類すると分かりやすいと説明。参加者は話の途中で2種類の日本酒を味わいながら、その違いを感じていた。また参加者の約半数が主に飲むのは日本酒とのこと、講師を喜ばせた。

編集後記

今年(昭和100年)として戦後80年という節目の年ですね。そこで新しく出来た図書館「ホントカ」の中にある郷土資料館に妻と二人で行き夏季企画展を見てきました。小千谷市における昭和の歩みを展示する企画展です。会場内には子どもたちのころに買ってもらったお宝が展示され、学芸員のお勧めで、上映されている1939年に執り行われた戦死者の「町葬」の映像記録を見ました。SLで小千谷駅まで運ばれた戦死者の遺骨が駅前から行列によって徒

歩で旧小千谷小学校の体育館まで運ばれ、そこで合同葬儀が執り行われるという約8分間の映像です。行列では、4月ということもあり、当時機械除雪などされていなかった雪の中を踏みしめて歩く関係者の様子が伺えます。私の叔父も一人戦死しているのですが、先日、家の片づけをしていくときに、吉谷の町内ごとに分けられた戦死者名簿なるものが出てきました。当時はこうだったものが配られたのです。我が家に眠っているのも仕方がないので、この施設に寄贈させていただきます。(1)